



第2回(仮称)曙川公園 ワークショップ

●ワークショップによる住民参加型まちづくり

八尾木五丁目に新しい公園ができます。整備にあたっては「わたしたちの公園」として身近に感じていただけるよう、地域の皆さんからご意見を伺いながら進めていきたいと考えており、合計4回のワークショップ開催を予定しています。去る10月21日に第2回目のワークショップが開催されました。その内容をこのNEWSでお知らせします。

NEWS 2017年10月21日号

●ワークショップの進行

■日時:平成29年10月21日(土)
14:00~16:00
■場所:曙川コミュニティセンター 2階集会室

14:00	●はじまりのあいさつ
	●前回ワークショップのふりかえり ・公園の将来像・利活用の方向性 ・課題整理(ボール遊び等)
	●公園の事例紹介 ・市内の公園での色々な取組 ・公園施設の紹介
14:30	●グループワーク 公園の計画案づくりにチャレンジ ・公園の利活用を考える ・公園に必要なモノ・空間を考える ・公園の間取り・配置を考える
15:30	●発表とまとめ ●おわりのあいさつ
16:00	終了

第2回目のワークショップでは、前回のワークショップ意見に基づき公園に必要なモノや空間公園の間取りや施設の配置について意見交換をしました。グループごとに図にまとめました。

1 色々な公園の事例紹介

はじまりのあいさつの後、前回のワークショップをふりかえりながら、公園の将来像や利活用の方向性について確認をしました。

その後、八尾市から市内公園での様々な取組事例の紹介がありました。色々な公園で、公園を中心としたまちづくりが地域の方々の活躍によって、進められていることがわかりました。

《市内公園の事例紹介》

- ボール遊びができる公園(山本町北第2公園)
- 街かど緑化支援事業での地域ふれあい花壇づくり
- YAOアドプトパークの取組
- 公園でのトイレの設置



(左上)山本町北第2公園でのボール遊びのルールづくり
(左下)市内多目的トイレの内部
(上)地域ふれあい花壇の取組



ワークショップ会場全景

2 グループワーク『公園の計画案づくりにチャレンジ』



ワークショップの後半は、グループに分かれて計画案づくりに取り組みました。まず、公園でやりたいことや利活用の方向性を整理した後、公園に必要なモノや空間について検討しました。次に、色紙やペンを使って、公園の間取りを考え、必要なモノ(施設)を配置し、グループごとに計画案をつくりあげました。

『公園のメインエントランスは、だんじりの布団太鼓が入れるような出入口にしたいね!』『広場と遊びのコーナーを分けて、幼児も安心してすごせるようにしよう』…など、様々な観点から検討しながら計画案づくりを進めました。



色紙やパーツを使いながら広場や遊び場の位置花緑の配置を検討しました



発表の様子

3 グループ発表とまとめ

最後に、グループで話し合った内容を全員の前で発表して、情報を共有しました。次回ワークショップでは、今回話し合った内容をもとに、計画案をひとつにまとめていきます。

(詳しい内容は裏面をご覧ください)

第3回ワークショップの内容

- ◆日時:平成29年11月18日(土)14:00~16:00
- ◆場所:曙川コミュニティセンター
- ◆テーマ:『公園の計画案をチェック!』

みんなの思い・アイデアをひとつの計画案にまとめよう

●ワークショップに関するご意見、お問い合わせは.....

八尾市都市整備部 みどり課(担当)内野 電話 072-924-3851





グループごとに話し合った内容

4つのグループに分かれて、計画案づくりにチャレンジしました。前回ワークショップで話し合った公園の将来像や利活用の方向性に基づき、施設の内容や配置を検討しました。その内容の一部をご紹介します。

ピンクグループの意見



- メインエントランスは、だんじりの布団太鼓が休憩に入れるような形にしたい。公園で布団太鼓と写真をパチリ撮影できる！
- 公園の東西を通り抜ける園路は花灌木で季節感豊かに彩る。
- 子ども達は自転車で遊びにくるので、駐輪場所が必要。
- ボール遊びのために、近隣に迷惑がかからないようにルールづくりをしっかりとしなければ。
- 子ども達が自然とふれあいながら、工夫して遊べるような公園にしたい。芝生の薬山、木、水…などで豊かな体験ができる遊び場をつくりたい。

緑グループの意見



- 現在は歩道が狭いので、公園と歩道を一体的な空間として、花壇(レイズドベッド)や花木で彩り、景観に配慮する。
- 公園を回遊できるような園路にしたい。
- 北側は土の広場に、南側は幼児も安全に遊べるゾーンにしたい。遊びゾーンの近くに手洗い、水飲み場を配置。
- 南側の園路沿いに大人も使える健康遊具を配置し、皆で健康増進！
- 休憩コーナーは、広場と遊びゾーンが見守れるように公園の中央に配置しよう。

黄グループの意見



- メインエントランスは、全長7mの布団太鼓が入れるようにしておく。公園を布団太鼓の休憩場所に利用してほしい。
- 園内を周遊できる園路にして、ノルディックウォーク等にも利用したい。
- 北側の広場は土の広場でボール遊びができるようにしたい。グランドゴルフや子どものボール遊びに使いたい。
- 南側は、子どもの遊びとシニアの健康遊具ゾーンにして、世代ミックスでお互い楽しく過ごし、見守りもできる。
- 東屋は、公園の中央に配置したい。季節を彩る藤棚もあると良い。ベンチは公園に点在させる。

青グループの意見



- 東側は、公園と一体的に歩道をひろくとり、どこからでも入れるようにしたい。
- ベビーカーや高齢者の手押し車がはいるように出入口の車止めを配置してほしい。
- 北側は土の広場として、遊びに応じたフェンスを検討する。
- 南側は、遊びのエリアとし、公園の目玉になるような複合遊具を設置する。ロボット遊具なんてどうかな？遊びのエリアは年齢に応じてゾーニングし、安全な遊び場に。
- 北・西・南側を植栽帯で縁取り四季を感じられる公園にしたい。
- かまどベンチやマンホールトイレ等防災施設も必要。

第2回ワークショップのまとめ

公園の間取り、施設の内容と配置の考え方

ワークショップで話し合った公園の利用や活用の方向性に基づき、必要な空間や施設のあり方を考えました。
※図は検討中の形で決定したものではありません



公園のメインエントランスはだんじりの布団太鼓が休憩に入れる出入口にしたいね



セブンイレブン

メインストリート沿いは歩道と一体的に歩きやすく美しいストリートにしたい。駐輪スペースも必要。

公園のルールづくりが必要だね



動線3 美しいメインストリート

- 【凡例】
- ➡ 4グループとも共通する出入口の候補位置
 - ➡ いくつかのグループで提案があった出入口の候補位置

<p>ゾーン1 のびのび広場ゾーン</p> <p>子ども達がのびのび遊べる広場のゾーンを創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボール遊びのルールづくりが必要 ●子ども達はのびのび遊び、シニアはグランドゴルフ。仲良く使う！ ●だんじり『布団太鼓』の休憩場所に ●近隣に迷惑がかからない様にフェンスを設置 <p>・多目的広場(土の広場 約800㎡) ・フェンス</p>	<p>ゾーン2 ふれあい休憩ゾーン</p> <p>公園の中央に明るく見通しの良い地域みんなの休憩空間を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広場や子どもの遊び場を見守れるように公園の中央に配置する ●見通しの良い場所に配置する ●雨除け・日除けとなる東屋を設置 ●手洗い場や水飲み場もあるといいね <p>・東屋・ベンチテーブルセット ・手洗い場・水飲み場 等</p>	<p>ゾーン3 みんなの遊び場ゾーン</p> <p>幼児から児童まで安全に遊べる地域みんなが楽しめる「遊び場」を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幼児と児童のエリアをゆるやかに分ける ●魅力的な遊具があるといいね ●身近な自然とふれあえる季節感のある豊かな遊び場 ●大人は健康になる遊び場 <p>・幼児用遊具-児童用遊具(複合遊具) ・健康遊具・ベンチ等</p>
---	--	--